



2024年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年7月4日

上場会社名 イーサポートリンク株式会社 上場取引所 東
コード番号 2493 URL <http://www.e-supportlink.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役会長 兼 CEO (氏名) 堀内 信介
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 深津 弘行 TEL 03-5979-0666
四半期報告書提出予定日 2024年7月12日 配当支払開始予定日 -
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 (補足資料はホームページに掲載予定です)
四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年11月期第2四半期の連結業績（2023年12月1日～2024年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年11月期第2四半期	2,574	18.1	72	-	82	-	35	-
2023年11月期第2四半期	2,179	△2.9	△17	-	△11	-	△11	-

(注) 包括利益 2024年11月期第2四半期 44百万円 (-%) 2023年11月期第2四半期 △9百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年11月期第2四半期	7.92	-
2023年11月期第2四半期	△2.71	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年11月期第2四半期	5,238	3,427	65.4
2023年11月期	5,568	3,404	61.1

(参考) 自己資本 2024年11月期第2四半期 3,427百万円 2023年11月期 3,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年11月期	-	0.00	-	5.00	5.00
2024年11月期	-	0.00	-	-	-
2024年11月期（予想）	-	-	-	5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年11月期の連結業績予想（2023年12月1日～2024年11月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,563	21.9	108	32.7	108	42.6	76	62.3	17.22

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細については、四半期決算短信（添付資料）9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年11月期2Q	4,424,800株	2023年11月期	4,424,800株
② 期末自己株式数	2024年11月期2Q	341株	2023年11月期	341株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年11月期2Q	4,424,459株	2023年11月期2Q	4,424,459株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(収益認識関係)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、雇用・所得環境が改善する中で、個人消費の持ち直しに足踏みが見られるものの、各種政策の効果もあって、景気は緩やかに回復しております。一方、世界的な金融引き締めに伴う影響や中国の不動産市場の停滞に伴う影響など海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等に十分に注意する必要があります。

当社グループが事業を展開する生鮮流通業界においては、人口減少等の社会課題を背景にDX（デジタルトランスフォーメーション）への積極的な投資や、企業の統合・再編等の動きが強まっており、事業環境は大きく変化しております。スーパーマーケットを中心とした小売量販店では、長引く物価高から消費者の節約志向を捉え、PB（プライベートブランド）商品の開発や価格訴求力の高い商品の値下げ、高付加価値型PB商品の展開等、各社様々な手法により事業拡大に取り組みながら、AI技術を活用した需給予測や自動発注システム、レジを無くした自動決済システム等への投資、移動販売やEC販売、スマートストアなど、新たな販売形態の展開により、店舗運営の効率化と消費者の多様なニーズへの対応を進めております。また、中間流通業においても、物流の2024年問題からAI技術を活用した配車システム等への投資や、事業者間の提携を踏まえた共同輸送モデルシフト等、配送の効率化に取り組む動きがみられます。国内の農業・生産サイドにおいては、生産者の高齢化や異常気象による主要産地からの農産物の供給不足が懸念される中、農作業の効率化・省力化や、食料の安定生産を支援するIoT機器やAI技術への投資により、国内の収穫量の増加と安定調達に向けた社会課題解決への取り組みが進んでおります。

このような環境において、当社グループは、既存事業の収益基盤を強化しつつ、社会課題の解決に向けて、生鮮分野において環境に配慮した持続可能な流通に貢献する「小商圈」、「地域活性化」を軸としたビジネスの展開に注力してまいりました。既存事業においては、受託業務量、システムのトランザクション量等の取扱高が増加し、また、新規顧客獲得に向けた積極的な営業活動強化の取り組みにより、増収増益となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は25億74百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益は72百万円（前年同期は営業損失17百万円）、経常利益は82百万円（前年同期は経常損失11百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は35百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失11百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は、以下のとおりであります。

(オペレーション支援事業)

「輸入青果物サプライチェーン事業」は、既存業務の整理と新たな業務受託体制の構築に取り組みながら、新規顧客の獲得と受託業務量の増加によって売上高が拡大いたしました。「生鮮MDシステム事業」は、新技術への対応に投資を行いながら、新規顧客及び大手量販店グループ企業各社への導入を推進し、課金対象となるトランザクション量が堅調に推移いたしました。一方で、昨今の物価高と人件費の上昇等により、システムの運用・保守コストが高まる中、システム利用料金の改定を行い、収益の改善にも努めてまいりました。「青果売場構築支援事業」は、バックオフィス業務の効率化を行いながら、営業体制を強化し、新規顧客の獲得、導入店舗の拡大に取り組み、サービス取扱高は堅調に推移いたしました。地場野菜の調達支援サービス「es-Marché」は、新規顧客獲得に向けて営業の強化を行いながら、効率的なサービス運営体制の構築に取り組んでまいりました。小売量販店の売上増加に伴い、サービス取扱高は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は17億10百万円（前年同期比14.9%増）、セグメント利益は5億62百万円（同22.3%増）となりました。

(農業支援事業)

「りんご・国産青果物販売事業」については、令和5年産のりんごが、天候不順などの影響により、十分な集荷数量を確保できず、前年同期比で売上高は減少しましたが、さつまいもの調達・販売の強化に取り組み、またその他の国産青果物についても、利益率の高い商材の販売に取り組んでまいりました。「有機農産物販売事業」については、輸入有機商材の取扱高が増加し、伸長する一方、天候不順などの影響により国産商材の調達が安定せず、仕入れ体制の強化に取り組んでまいりました。

以上の結果、売上高は8億64百万円（前年同期比25.1%増）、セグメント損失は55百万円（前年同期はセグメント損失41百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産の部

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末と比べて3億30百万円減少し、52億38百万円（前連結会計年度末比5.9%減）となりました。

内訳としては、流動資産が38億43百万円（同10.5%減）、固定資産が13億95百万円（同9.3%増）となりました。

流動資産の主な減少要因は、現金及び預金が3億56百万円減少したことによるものです。

固定資産の主な増加要因は、ソフトウェア仮勘定が95百万円増加したことによるものです。

② 負債の部

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比べて3億53百万円減少し、18億11百万円（同16.3%減）となりました。

内訳としては、流動負債が11億9百万円（同16.8%減）、固定負債が7億2百万円（同15.5%減）となりました。

流動負債の主な減少要因は、買掛金が1億63百万円減少したことによるものです。

固定負債の主な減少要因は、長期借入金が1億35百万円減少したことによるものです。

③ 純資産の部

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比べて22百万円増加し、34億27百万円（同0.7%増）となりました。

この結果、自己資本比率は65.4%となりました。

その主な増加要因は、利益剰余金について、配当により22百万円減少した一方、親会社株主に帰属する四半期純利益を35百万円計上したことによるものです。

④ キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前年同四半期連結会計期間末に比して8億69百万円減少し、26億45百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は1億5百万円（前年同期は4億15百万円の収入）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の計上、減価償却費の計上等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は2億28百万円（前年同期は1億8百万円の支出）となりました。これは主に無形固定資産の取得による支出1億89百万円等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は2億34百万円（前年同期は1億86百万円の支出）となりました。これは主に長期借入金の返済による支出1億60百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年1月12日の「2023年11月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,902,549	2,545,942
売掛金	808,015	916,975
有価証券	99,996	99,980
商品及び製品	267,591	160,808
仕掛品	4,240	850
原材料及び貯蔵品	5,936	7,066
その他	204,637	111,648
貸倒引当金	△136	△146
流動資産合計	4,292,829	3,843,124
固定資産		
有形固定資産	167,946	162,979
無形固定資産		
ソフトウェア	242,946	243,421
ソフトウェア仮勘定	275,142	370,777
無形固定資産合計	518,089	614,199
投資その他の資産		
その他	730,904	757,243
貸倒引当金	△140,812	△139,308
投資その他の資産合計	590,091	617,935
固定資産合計	1,276,126	1,395,113
資産合計	5,568,956	5,238,238
負債の部		
流動負債		
買掛金	539,564	375,789
短期借入金	50,000	—
1年内返済予定の長期借入金	299,169	274,167
未払法人税等	30,154	44,254
賞与引当金	—	97,925
その他	414,170	316,892
流動負債合計	1,333,059	1,109,029
固定負債		
長期借入金	489,969	354,963
退職給付に係る負債	298,622	306,293
資産除去債務	31,862	32,019
関係会社事業損失引当金	4,447	4,447
その他	6,412	4,378
固定負債合計	831,313	702,101
負債合計	2,164,373	1,811,131

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2024年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,721,514	2,721,514
資本剰余金	618,777	618,777
利益剰余金	53,478	66,381
自己株式	△557	△557
株主資本合計	3,393,212	3,406,115
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,719	7,736
退職給付に係る調整累計額	13,090	13,255
その他の包括利益累計額合計	11,371	20,992
純資産合計	3,404,583	3,427,107
負債純資産合計	5,568,956	5,238,238

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
売上高	2,179,916	2,574,767
売上原価	1,384,766	1,656,910
売上総利益	795,150	917,856
販売費及び一般管理費	812,901	845,176
営業利益又は営業損失(△)	△17,751	72,680
営業外収益		
受取利息	1,060	1,108
受取配当金	8,712	9,638
その他	293	1,554
営業外収益合計	10,066	12,300
営業外費用		
支払利息	3,930	2,579
その他	49	50
営業外費用合計	3,980	2,629
経常利益又は経常損失(△)	△11,665	82,352
特別損失		
関係会社株式評価損	-	20,000
特別損失合計	-	20,000
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,665	62,352
法人税等	316	27,326
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,982	35,025
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△11,982	35,025

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△11,982	35,025
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,292	9,455
退職給付に係る調整額	625	164
その他の包括利益合計	2,918	9,620
四半期包括利益	△9,064	44,646
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,064	44,646

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△11,665	62,352
減価償却費	54,450	48,927
関係会社株式評価損	—	20,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	94,730	97,925
貸倒引当金の増減額(△は減少)	144	△1,494
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	6,562	7,908
受取利息及び受取配当金	△9,772	△10,746
支払利息	3,930	2,579
売上債権の増減額(△は増加)	310,486	△17,266
棚卸資産の増減額(△は増加)	19,954	109,043
仕入債務の増減額(△は減少)	6,864	△150,255
その他の流動資産の増減額(△は増加)	4,046	△10,319
その他の固定資産の増減額(△は増加)	122	539
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△65,996	△45,636
その他	154	157
小計	414,011	113,714
利息及び配当金の受取額	9,778	10,746
利息の支払額	△3,932	△2,358
法人税等の支払額	△4,483	△16,478
営業活動によるキャッシュ・フロー	415,372	105,623
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,314	—
無形固定資産の取得による支出	△106,473	△189,111
関係会社株式の取得による支出	—	△39,000
その他	10	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,778	△228,111
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△50,000
長期借入金の返済による支出	△160,008	△160,008
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△4,125	△2,005
配当金の支払額	△22,122	△22,122
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△186,255	△234,135
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	120,338	△356,623
現金及び現金同等物の期首残高	3,394,979	3,002,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,515,318	2,645,922

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2023年2月22日 定時株主総会	普通株式	22,122	5.00	2022年 11月30日	2023年 2月24日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年12月1日 至 2024年5月31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年2月27日 定時株主総会	普通株式	22,122	5.00	2023年 11月30日	2024年 2月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年12月1日 至 2023年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	オペレーション 支援事業	農業支援事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じ る収益	1,488,822	691,094	2,179,916	—	2,179,916
外部顧客への売上高	1,488,822	691,094	2,179,916	—	2,179,916
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	20	20	△20	—
計	1,488,822	691,115	2,179,937	△20	2,179,916
セグメント利益又は損失 (△)	460,244	△41,192	419,052	△436,803	△17,751

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△436,803千円には、セグメント間取引消去704千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△437,508千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年12月1日至2024年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	オペレーション 支援事業	農業支援事業	合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
顧客との契約から生じる収益	1,710,023	864,744	2,574,767	—	2,574,767
外部顧客への売上高	1,710,023	864,744	2,574,767	—	2,574,767
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,710,023	864,744	2,574,767	—	2,574,767
セグメント利益又は損失 (△)	562,871	△55,528	507,342	△434,661	72,680

(注) 1 セグメント利益又は損失の調整額△434,661千円には、セグメント間取引消去749千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△435,411千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。